

◆ 平成 27 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：桜エコ・フェスタ 2015 実行委員会

代表者：実行委員長 中川節子

URL : <http://sakura-kc.saitama.jp/kankyo/>

1. 活動が必要とされた状況

さいたま市内で出されるごみは約 227,000 トン（平成 26 年度）。限りある地球資源の枯渇を防ぎ、豊かな自然環境や資源を残していくためには、従来の大量生産・大量消費・大量廃棄型の生活を見直し、環境負荷の少ない循環型社会を構築することが必要です。平成 27 年 4 月開設のごみ処理施設「さいたま市桜環境センター」に付設された、市民の環境活動の拠点「環境啓発施設」にて、3Rの推進や環境啓発をテーマにしたフェスタを開催することで、施設の周知・活用や、環境活動団体同士の交流を図り、循環型社会への移行を促進します。



メインディスプレイ

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

フェスタ名称：「桜エコ・フェスタ 2015」

- 実行委員会：9月12日（土）、10月16日（金）実施
- プレ企画（メインディスプレイ作成）：9月中旬～11月初頭実施
- 実施日時：11月29日（日）10:00～16:00
- 実施会場：さいたま市桜環境センター・環境啓発施設
- 参加団体：37 団体（授産製品見本市参加の 12 団体を含む）
- 来場者数：約 1,200 名
- 実施内容：①環境助成金セミナー②ごみ処理施設特別見学会③環境活動団体の展示・体験ブース④ステージパフォーマンス⑤授産製品見本市を同時開催



3. 活動の成果

- ・ 広範な広報活動により、初めて来館した方が多く、施設の周知につながった。
- ・ 参加団体同士の交流があり、コラボレーションの話が進んだ団体も複数あった。
- ・ 来場者アンケートでは、約 7 割の方が環境／3Rへの関心が深まったと回答。多種多様な企画や団体紹介冊子によって、環境活動に触れるきっかけを提供できた。



4. 今後に残された課題

- ・ 各団体の環境活動を更にわかりやすくPRする。
- ・ 多数来場時の施設対応（送迎バスや駐車場など）の向上やスタッフ間の情報共有。